

平成31年度予算施政方針

下諏訪町長 青木 悟

平成31年度予算案のご審議をお願いするにあたり、新年度の町政運営に対する所信の一端と主要な施策についてご説明申し上げ、町民の皆様並びに議員の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年町制施行125周年は、年間を通じた各種記念事業に際し、多くの町民の皆様のご理解とご協力、またご参加をいただきながら、町の歩みを振り返り、歴史と文化を再認識する大変意義深い一年でありました。

本年も、あと2カ月余りで「平成」の元号が改元を迎え、新たな歴史を刻む記念すべき節目の年となります。

政府は、人づくり革命と生産性革命により「一億総活躍社会」の実現を目指しており、国内経済にあっては、緩やかな景気拡大による個人消費の持ち直しが期待されるようですが、本年10月からの消費税率の引き上げや世界経済の減速への懸念など、先行きの不透明感が広がっております。

迎える平成31年度は、私にとって4期目後半のスタートの年となります。今後の政治経済の情勢にも柔軟に対応し、公約として掲げた事業を着実に進められるよう、また、把握した住民要望などに全力で応えることを念頭に、予算編成に取り組んでまいりました。

新年度におきましても、まちづくりの指針となる「第7次総合計画」及び「未来を創る総合戦略」を基本とする地方創生の更なる推進を図るとともに、重点目標には、引き続き「安全に、健康で暮らし続けることができるまちづくり」、「安心して子どもを産み、育てることができるまちづくり」、「安定的に働き続けることのできる地域、まちづくり」、「住んでいることに誇りが持てる住民主体・協働のまちづくり」の4本柱を掲げ、輝く未来に向けた施策の推進と健全な町政運営に臨んでまいり所存です。

それでは、平成31年度下諏訪町一般会計、特別会計、企業会計、それぞれの予算案についてのご審議をお願いするにあたり、施政方針を述べさせていただきます。

一般会計の予算総額は85億1,000万円で、対前年比6.4%、5億1,000万円の増となります。

予算の概要としましては、事業の必要性と優先度を考慮しながら、国・県の補助金等による財源確保、交付税措置のある有利な起債と目的基金の活用を図りながら、健康スポーツゾーン構想に基づく水上防災拠点施設・艇庫の建設、衛生面に配慮した八島高原公衆トイレの整備、四ツ角駐車場の整備、道路関連事業など幅広く投資的事業を実施いたします。

また、住民の皆様ご安心・安全な暮らしに寄与すべく、中型バスと町内循環バス「あざみ号」の車両更新、保育園、老人福祉センターなど公共施設へのエアコン設置、妊産婦や次世代を担う子どもたちへの支援など、身近な生活環境にも配慮した大型で積極型の予算といたしました。

それでは、歳入の主なものについてご説明いたします。

町税総額は、対前年比1.8%、4,830万円減の26億180万円を計上いたしました。

主要3税のうち、個人町民税は配当所得等の減収に加え、所得全体に大幅な伸びが期待できないことから4,600万円の減、法人町民税は、やや減速感が見られるものの急激な落ち込みはなく堅調に推移していること、国の経済政策や町の企業支援等の効果に期待を込めて1,000万円の増、また、固定資産税は地価の下落は続くものの、家屋件数の増加が見込めることから前年同額を計上いたしました。

そのほか、たばこ税は健康志向の高まりと喫煙規制の強化、値上げなどの要因から喫煙人口が減少傾向であるため1,240万円の減と見込みました。

地方譲与税は、森林整備の推進を目的とする「森林環境譲与税」が創設されるため、対前年比5.7%、300万円増の5,600万円、地方消費税交付金は、消費税率の引き上げによる駆け込み需要の影響を考慮し、対前年比6.4%、2,500万円増の4億1,500万円を計上いたしました。

自動車取得税交付金は、税制改正に伴い10月1日から廃止となりますが、これに代わる「環境性能割交付金」が創設されることから、対前年比6.3%、50万円増の850万円を見込み、地方交付税には、町税の減収と地方財政計画などを考慮する中で、対前年比5.8%、9,000万円増の16億5,000万円を計上いたしました。

国庫支出金には、新艇庫建設に係る「地方創生拠点整備交付金」や赤砂崎公園右岸整備に係る「防災・安全社会資本整備交付金」により、対前年比24.5%、1億3,901万5千円増の7億552万3千円を計上いたしました。

繰入金では、温泉事業特別会計から貸付金の返済として前年同額の1億9,700万円を繰入れするほか、公共施設整備基金から水上防災拠点施設・艇庫整備、各公共施設へのエアコン設置、中型バス購入などの財源として総額1億2,368万4千円を、地域開発整備基金からは道路新設改良事業、赤砂崎公園整備事業、街なみ環境整備事業、水月公園への桜の植樹事業など総額1億1,954万2千円を、社会福祉基金からは福祉タクシー等助成事業へ2,340万円を充当するなど、目的基金を有効活用させていただきます。

また、ふるさとまちづくり基金からは2,604万2千円を寄附者の希望に添った事業へ、こども未来基金につきましても、学校やPTAの要望に応えながら、こどもの教育支援やこども未来バス設置に必要な経費へ総額770万円を充当してまいります。

なお、本年度においても財政調整基金からの繰入れは見込まず、健全財政の堅持に努めてまいります。

町債には、対前年比16.1%、1億4,840万円増の10億6,940万円を計上いたしました。主なものとしては、水上防災拠点施設・艇庫整備事業の2億8,310万円、防災行政無線設備更新事業の1億1,720万円、八島高原公衆トイレ整備事業の7,080万円、道路関係の1億2,710万円、臨時財政対策債の3億円となりますが、将来世代への負担を見据え、いずれも交付税措置のある有利な起債のみの借入れといたしました。

次に、歳出につきまして、それぞれ主な事業を説明いたします。

一般行政では、引き続き第7次総合計画前期基本計画、第5次行政改革大綱、第2次行財政経営プランなどに沿った施策、事業を着実に推進するとともに、未来を創る総合戦略に基づき地方創生に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

本年度の職員数は、前年度より1人増の218人でスタートいたします。職員関係では、組織と職員個々の更なるレベルアップを図るため、各種講座・研修を実施するとともに、長野県や岡谷市との職員交流による人材育成を進めます。また、2020年度施行の新地方公務員法に基づく会計年度任用職員制度の創設に向けた準備を行います。

土地開発公社への損失補填補助は、赤砂崎用地の債務解消に向けて計画どおり実施するとともに、町と土地開発公社が保有する公園北側用地につきましては、社会情勢を注視しながら、引き続きエコタウン構想に基づく宅地分譲事業の検討を行ってまいります。

公会所整備事業では、耐震改修やバリアフリー改修等に対する助成のほか、昨年夏の猛暑に対応すべく、新たに冷房設備設置への補助メニューを設け、地域コミュニティ活動の拠点となる公民館、公会所の整備を支援してまいります。

車両関係では、購入から28年が経過した中型バスについては、排ガス規制により6大都市圏への乗り入れができないことから、町民をはじめ各種団体の皆さんの利便性と安全性に配慮した新規車両へ更新させていただきます。

プロジェクト推進事業では、出会い・婚活事業のほか、諏訪湖・水辺空間の活用、線路下への第2ぽけっとの開設、水月公園千本桜構想などの具現化に向けて、住民の参画を得ながら検討を進めてまいります。

未来を創る総合戦略は、本年度計画期間の満了を迎えます。これまでの地方創生に向けた取り組みの成果や課題を検証するとともに、第2期目となる地方版総合戦略の策定を目指します。

加えて、第7次総合計画前期基本計画、第5次男女共同参画計画が2020年度には計画期間が満了となることから、本年度、後期基本計画策定に向けた町民アンケート調査と第6次男女共同参画計画策定に向けた町民、企業等への意識調査を実施いたします。

姉妹都市交流事業では、昨年6月30日に提携した愛知県南知多町と幅広い交流を進めるため、本年度は、当町から小学生を派遣し、海のまち南知多町の素晴らしさを体験、体感してもらえよう、こどもたちの相互交流を充実してまいります。

協働推進事業では、民公協働による活力あるまちづくりの推進を図るため、下諏訪力創造チャレンジ事業を継続し、町民が自主的、主体的に取り組む、個性とアイデアにあふれる事業に対し支援してまいります。

広報広聴事業では、様々な分野の著名人や学識経験者を招いての町民講演会は6回目の開催となりますが、多くの町民の皆さんに参加いただけるよう、更に工夫して実施いたします。

防災対策では、昨年度から2年計画で進めている町の指定避難所と避難場所の表示看板設置を引き続き実施してまいります。また、赤砂崎公園右岸整備に併せて災害時ブランコ用テントを購入するほか、駅前広場へのマンホールトイレと町指定避難所への防災用備品の整備を進めます。

地区防災計画の策定は、全地区で完成したことから、町内全域をカバーする防災マップ、土砂災害警戒区域、浸水エリア、幅広い防災情報などを反映させた総合ハザードマップを作成し、日頃から各家庭で活用いただけるよう全戸配布してまいります。

防災意識日本一を目指す取り組みでは、家庭用災害備蓄の第2弾として、災害時用簡易トイレを町民へ安価で斡旋し、自助の心構えと防災意識の更なる向上を図ってまいります。また、昨年度に引き続き、備蓄食糧を各区自主防災会へ計画的に分散配備し、地域防災力の強化と地域間連携の促進に努めます。

地域における防災意識の更なる高揚を図るため、自主防災組織や防災ネットワークしもすわへの補助を通じ、防災士資格の取得や各種訓練などの取り組みを支援いたします。

また、防災ネットワークしもすわと連携して、地域防災リーダー研修における避難所設置訓練と、新たな担い手として期待の大きいこどもたちを対象としたジュニアサバイバル防災教室を引き続き実施いたします。

3年計画で進め、2年目を迎える防災行政無線デジタル化更新事業につきましては、緊急時の災害情報を安定かつ確実に住民の皆さんに届けられるよう、工事を継続してまいります。

情報関連では、自治体間のマイナンバーの情報連携やサイバー攻撃への対策を強化し、利便性向上に努めてまいります。

選挙関係では、県議会議員選挙、町議会議員選挙、参議院議員選挙の執行が予定されていますが、若者世代の投票率向上に資する啓発活動に努めるとともに、主権者教育にあつては、小中学校、向陽高校に協力をいただきながら更に充実してまいります。

予備費には、不測の支出に備えるため800万円を計上いたしました。

会計業務につきましては、会計管理者のもと、引き続き適正な会計事務の執行に努めるとともに、年度末における資金繰りを考慮し、一時借入金の最高額を15億円と設定いたしました。

議会関係では、議会運営に必要な経費のほか、町議会議員の改選に伴う費用を計上するとともに、開かれた議会運営を引き続き推進していただくため、「議会だより」の発行経費を計上いたしました。

監査関係では、公正で効率的かつ効果的な行財政運営の確保と地方自治の健全な発展に貢献するため、定期的な監査のほか、技術監査の実施に伴う経費を計上しております。

税務関係では、身近な生活に欠かせない税金の役割を正しく理解していただけるよう、引き続き小中学生を対象とした租税教育を実施します。

また、ふるさとまちづくり寄附金では、インターネットサイトでの周知拡充を行い、当町らしいお礼の品を贈呈するとともに、申し出いただいた方々の意向に添って寄附金を活用してまいります。

賦課徴収業務では、税負担の公平性と財源確保の観点から適正な課税を行うとともに、固定資産税では、空中画像撮影を行うなど、課税客体の正確かつ効率的な把握に努め、課税の適正化・公平化を図ってまいります。

また、収納対策室を中心に、住民に寄り添ったきめ細かな納税相談と滞納整理を進め、収納未済額の削減に努めます。

総合窓口業務では、各種届出や証明発行等の正確で迅速な処理と、窓口のワンストップ化による住民サービスの向上に努めます。また、休日窓口とコンビニ証明書交付サービスの周知を通じて、多くの方に時間外の証明サービスをご利用いただけるよう、マイナンバーカードの普及に努めてまいります。

2021年の無料化が期待される新和田トンネル有料道路につきましては、時間帯割引券の販売を継続し、通勤、通学、通院等で利用される方への負担軽減を図ります。

消費者行政では、巧妙化している特殊詐欺など、複雑かつ多岐にわたる悪質商法等に対応するため、気軽に相談できる場として、消費生活センターの活用を更に周知するとともに、迅速で丁寧な対応に努めてまいります。

生活関連事業となる「あざみ号」は、経年劣化に伴い、萩倉・星が丘線と武居線で運行する大型バスをノンステップで乗降可能な低床型バスに更新するほか、利用者からの要望を踏まえ、バス停の追加や名称変更を実施するなど更なる利便性の向上を図ってまいります。「スワンバス」につきましても、昨年度の内回り線に続き外回り線の車両を更新し、より快適で利用しやすい交通体系を提供いたします。

各種相談事業では、日常生活の中で抱える悩みや困りごとをホットライン(専用ダイヤル)を使って気軽に相談できる「なんでも相談室」において、関係機関や担当窓口と連携しながらワンストップで対応してまいります。

移動販売事業では、イオンリテール株式会社の協力により、御用聞き的な要素を取り入れた移動販売車「やしまルシェ」による訪問対面販売を第7区社が丘にも拡充し、より多くの皆さんに喜んでいただけるよう取り組んでまいります。

子育て支援関係では、「子ども・子育て支援事業計画」の最終年度を迎えることから、計画の成果を検証するとともに、第2期計画策定を進めてまいります。

また、やむを得ない理由で一時的に児童を養育することが困難な保護者に対し、児童が施設に短期入所できるよう支援を拡充してまいります。

保育園では、増加傾向にある未満児保育の受入れ体制の充実を図るとともに、全保育室にエアコンを設置します。また、子育てふれあいセンター「ぼけっと」にも設置し、猛暑に対応した施設環境の整備を図ります。

更に、保育業務に携わる職員に対しては、B型肝炎の予防接種に対する補助を行い、相互の感染防止に努めます。

本年10月からの消費税率引き上げに合わせて実施予定の保育料無償化につきましては、今国会での法案改正が見込まれていることから、当初予算には反映できませんが、法案の公布を待って速やかに補正対応をさせていただきます。

心身障害児通園訓練施設「せせらぎ園」では、信濃医療福祉センターから心理士を派遣いただき、心の病を抱えている保護者に対する支援を行ってまいります。

福祉医療給付事業では、満18歳までの医療費を現物給付方式としているところですが、安心して受診できるよう引き続き支援してまいります。

社会福祉関係では、災害発生時や救急搬送時に支援を必要とする方への安心カード、また、日常生活において援助や配慮を必要とする方へのヘルプマーク・ヘルプカードを配布し、地域で支え合う共生社会の実現を目指します。

障がい者福祉事業では、障がいがあっても地域で自立した生活が送れるよう、在宅介護サービスや日常生活用具の給付のほか、諏訪圏域障がい者総合支援センター「オアシス」や社会福祉協議会などと連携して、障がい者にやさしいまちづくりを進めます。

また、諏訪市社会福祉協議会内に開設した「諏訪市・下諏訪町成年後見支援センター」では、障がい等により判断能力が十分でない方の権利と財産を守り、不利益を被ることがないように成年後見制度の普及啓発を図るとともに、利用促進に向けた取り組みを推進してまいります。

高齢者福祉事業では、町に住むすべての高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域の課題把握と具体的な対策を講じるとともに、関係機関との連携を図りながら、地域包括ケアシステムの強化に取り組めます。

また、民生児童福祉委員による独居高齢者宅への訪問、配食サービスによる栄養管理を含めた安否確認、後期高齢者のみの世帯を対象とするシルバーネット訪問等、地域ぐるみの見守り体制を構築し、安心して生活できるよう支援を継続してまいります。

介護保険事業につきましては、保険者である諏訪広域連合を中心に構成市町村や関係機関等と連携を図りながら、地域の特性に応じた適正な運営を推進してまいります。

福祉タクシー等助成事業につきましては、タクシー助成券、バス助成券又は入浴助成券のいずれかを利用者の実情に応じて選択していただくほか、運転免許証自主返納者や独居高齢者にも助成し、高齢者等の外出支援に取り組んでまいります。

一般介護予防事業では、身体の機能低下と認知症に対する予防や啓発に取り組むとともに、住民による主体的な活動を推進し、孤独・孤立を防ぎ、心身ともに健康な生活が続けられるよう支援いたします。

高齢者福祉計画策定事業では、2020年度の計画見直しに向けて、実態把握のアンケート調査を行い、基礎資料の収集を進めます。

老人福祉センターにつきましては、昨今の猛暑・酷暑対策として会議室等にエアコンを設置し、福祉避難施設としての機能強化と環境整備を図ってまいります。

母子保健事業では、新たに出産直後の女性を対象とした産婦健診を実施するとともに、家庭での支援が得られない産婦に宿泊型ケアを実施し、産後うつ予防や早期支援による出産から育児までの切れ目ない支援を推進します。また、新たに妊婦の歯科健診事業を実施し、安心して出産に臨むことができるサポートと意識付けに繋げてまいります。

生活習慣病検診事業では、特定健診やがん検診の受診率の向上を図るほか、精密検査の未受診者への対応や健診結果に対する保健指導により、疾病の早期発見と重症化予防に努めます。

疾病予防事業では、国の風しん対策に対応して、対象者への抗体検査と予防接種を進めてまいります。また、昨年10月から実施している未就学児童へのB型肝炎ワクチンの予防接種は、本年度においても継続いたします。

健康づくり推進事業では、高浜健康温泉センター「ゆたん歩^o」や湖畔の健康スポーツゾーンを活用した各種講座に参加いただきながら、健康ポイント事業による動機付けを図るとともに、健康づくりの土台である運動・栄養・良い習慣の実践を支援し、健康長寿のまちづくりを推進してまいります。

環境施策では、衛生自治会や諏訪湖浄化推進連絡協議会などの関係団体と連携し、安全で快適な生活環境を維持するとともに、環境基本計画に基づき事業を推進いたします。

また、ごみの分別や収集日等が確認できる「ごみ分別促進アプリケーション」を導入し、町民の皆さんがごみの出し方について、より理解が深まるよう努めるとともに、多くの皆さんにご利用いただいている駅東リサイクルステーションでは、粉塵対策として舗装範囲の拡張工事を実施します。

近隣市町との共同事業である湖北火葬場、湖北衛生センター及び諏訪湖周クリーンセンターにつきましては、引き続き構成市町との連携を図りながら、適正な管理運営に努めるとともに、湖周地区最終処分場の整備に当たっては、引き続き周辺地域の要望にも配慮しながら慎重に対応してまいります。

生ごみリサイクル事業では、推進委員会の協力により参加世帯の拡大を図り、生ごみの減量を促進するとともに、リサイクルセンターの利用者が清潔を保てるよう手洗い場を設置いたします。また、引き続き生ごみ処理機器購入に対する補助と堆肥化促進剤の配付を行い、更に燃やすごみの減量を推進してまいります。

労務対策では、労務対策協議会など関係団体と連携し、就職説明会や企業研究会の開催により、町内企業を担う人材確保を進め、中高年齢者に対する雇用促進奨励金や中小企業退職金共済掛金の補助を通じて、雇用の拡大、勤労者の処遇改善を図ります。

農業施策では、農地パトロールと意向調査により農地の現状を把握し、農地の貸借のサポートや町民菜園としての活用など、遊休農地の解消に努めるとともに、農業者支援として、引き続き鳥獣被害防止電気柵等への補助を行いながら、被害の抑制を図ります。

果樹生産者に対しては、りんごのPRチラシを新たに作成し、個人販売や八王子メッセ、南知多町産業まつりにおける販路拡大を支援してまいります。

林業では、町有林の計画的な整備を進め、民有林は、補助事業を活用し森林所有者の負担軽減を図りながら集約と整備を促進するとともに、森林整備において重要な役割を担う林道等の整備を行います。また、有害鳥獣駆除の際に誤って罠に掛かったツキノワグマを専門家により安全に放獣し、人身被害の防止と野生鳥獣との共生を図ってまいります。

水産業では、引き続き魚類増殖事業や外来魚駆除対策事業などへの補助を行い、水産資源の維持のための支援を実施してまいります。

商工業の振興につきましては、設備投資等を支援する商工業振興助成事業をはじめ、各種補助制度により企業への積極的な支援を行います。

また、商工会議所、ものづくり支援センターしもすわ、下諏訪町金融団など関係機関との連携によるワンストップ窓口を通じた支援を強化し、個人や企業の起業創業、生産性向上、事業継続等をきめ細かく支えます。

諏訪圏6市町村の広域的な取り組みでは、諏訪圏工業メッセ、SUWAブランド創造事業など、圏域の強みである高度な精密加工技術と恵まれた自然環境を活用した成長産業分野へ進出を図るため、技術力の発信と企業連携をサポートしてまいります。

地域活性化の取り組みでは、まちなかの賑わい創出のための地域活性化フェア等の開催や、下諏訪まちづくり推進会議が進める次世代の地域の担い手による下諏訪駅舎の街かど博物館リノベーション等に対する支援を拡充します。

中小企業対策では、運転資金や設備資金等の資金の円滑な調達を支援するため、引き続き融資制度の普及を図ってまいります。

減災設備・リフォーム補助事業につきましては、新たに賃貸物件の所有者や居住者による改修も補助対象とし、ブロック塀除去工事等の減災工事や住宅の機能向上を継続して支援することで、地域産業の活性化と安心安全のまちづくりを推進してまいります。

ものづくり支援センターしもすわでは、ワンストップによる支援を継続し、「売れる・売る・ものづくり」をコンセプトに、町の工業技術を効果的に活かした企業連携を強化し、ホームページ等を活用した情報発信の充実、営業力強化、製品開発、受注確保、事業承継に向けた事業を充実してまいります。

観光事業では、国、県とともに山岳観光を推進するため、八島高原の老朽化した木道整備を計画的に進めるほか、八島公衆トイレを清潔感のある施設に改修します。

また、四ツ角駐車場でも、観光客への利便性向上を図り、町道御田町線美装化工事に併せて舗装工事と公衆トイレ、管理棟の改築を進めてまいります。

観光振興においては、観光地周遊ルートや駐車場案内の看板を整備するとともに、観光客の滞在時間の延長と観光消費額の増加を図るため、観光資源を活用したマーケティングとプロモーションを観光振興局と地域おこし協力隊が一体的に取り組み、農業・飲食業・商工団体等との産業間連携による活性化を推進いたします。

観光施設では、下諏訪町の歴史文化を伝えるまち歩き観光の拠点「しもすわ今昔館おいでや」と、祭りをテーマに町の伝統・文化を紹介、継承する「おんばしら館よいさ」において、多彩なイベントや、ものづくりなどの体験・体感ができる魅力ある施設として管理運営を進めてまいります。

5年目を迎えるイルミネーション事業では、赤砂崎公園と下諏訪駅前広場で、地域の皆さんにも参画いただきながら装飾を施し、趣向を凝らしたイベント開催による賑わいを創出し、地域の活性化に繋げてまいります。

移住定住促進対策事業では、移住定住促進アクションプランに基づく移住相談や交流イベントを中心に活動する「地域おこし協力隊」1名を増員し、実態調査の結果を踏まえた空き家の活用に取り組み、下諏訪ならではの暮らしの提案、ホシスメバ事業との企画連携を行い、移住定住の促進と移住者視点による活性化を図ります。

また、移住者が空き家等を購入して改修する場合の補助に、結婚された夫婦への新婚世帯加算を新たなメニューとして加え、空き家の活用と新婚世帯の移住定住を促進してまいります。

しごと創生推進事業では、更に「しごと創生拠点施設 ホシスメバ」のリノベーションによる改修を進め、段階的に共用してまいります。また、交流イベントや体験ワークショップにより、地域コミュニティの創出を図るとともに、町内において起業創業を志す方々を力強く支援してまいります。

新婚新生活支援事業では、ホシスメバに隣接する住宅の運営管理を行うとともに、町内で新婚生活を営む方には、新生活に向けた補助金により引き続き経済的な支援を行います。

土木関係の道路維持補修事業につきましては、安全で快適な道路環境を維持するため、区や住民から要望いただいた路線を優先的かつ計画的に補修して、きめ細やかな整備に努めてまいります。

道路新設改良事業では、町道学校通り線や町道下の原砥川東線一部の拡幅工事を行い、通行時の安全性の向上を図ります。町道湖岸通り線の街路灯につきましては、引き続き太陽光発電式LED照明灯へ更新するとともに、インターバル速歩と連動した足元灯の整備を行います。

また、湖周ジョギングロードにつきましては、砥川から十四瀬川の約300mの未整備区間を、サイクリングロードと一体的に整備します。

橋りょう新設改良事業では、跨線橋である高木橋において、長寿命化と耐震補強両面の対策が必要となることから、昨年度実施した調査結果を基に架け替えに向けた概略設計を行います。

都市計画マスタープラン策定事業では、引き続き国道20号バイパスの具体的な方針と人口減少等の社会情勢の変動を踏まえ、町の全体構想、地域別構想の見直しを行い、将来の都市像、地域像を示すとともに、20年後を見据えたプランとして策定いたします。また、マスタープランの見直しにより、用途地域につきましても現状に即した変更を予定しております。

住宅・建築物安全ストック形成事業では、大規模地震による倒壊の危険性が高いとされる昭和56年以前に建築された木造住宅について、住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、耐震診断のほか、耐震補強・改修を多くの方が引き続き実施できるよう、戸別訪問や説明会を通じて周知を図り、耐震化を促進してまいります。

公園整備事業では、遊具や公園施設の安心安全な維持管理に努めるとともに、公衆トイレの洋式化を継続的に進め、利用環境の更なる向上を図ってまいります。また、水月公園千本桜構想の実現に向けた桜の植樹を実施いたします。

赤砂崎公園整備は、最終年の事業として右岸エリアの遊具と駐車場の整備等を進め、2020年4月1日の供用開始を目指します。

赤砂崎水辺空間活用事業につきましては、赤砂崎公園や諏訪湖の河川空間を有効活用し、多彩なイベントを模索しながら、社会実験等の取り組みを通じて検証し、持続可能な事業として展開してまいります。

街なみ環境整備事業では、引き続き町道御田町線の道路美装化工事を行うほか、綿の湯跡地の整備について、まちづくり協議会や地元の方々との協議により、大社周辺の街なみに合った整備の検討を進めてまいります。

県関連事業の砥川河川改修では、富士見橋から下流両岸の工事着手を予定しておりますが、早期の事業完了に向け、県との連携を図り、継続した予算確保を要望してまいります。また、承知川の河川改修、大沢川・高木二沢・長久保沢の砂防事業、武居地区の急傾斜地崩壊対策事業につきましても県と協力して進めます。

バイパス対策では、諏訪バイパスにおける環境影響評価の現地調査が完了したことから、準備書の作成に着手するとともに、都市計画においてはルート原案の具体的な検討に入っております。

下諏訪岡谷バイパスは、引き続き国からの事務委託を受け事業推進を図るとともに、バイパス開通時の利便性を考慮し、下諏訪岡谷バイパスからホシスメバ及び星が丘地区へのアクセス道路の概略設計を行います。

諏訪広域消防事業につきましては、3年を経過した消防一元化体制の検証結果を踏まえ、消防体制等検討委員会を設置し、組織体制、消防業務並びに施設整備等の中長期的な計画策定も併せて検討を進めております。安定した消防力の確保と効果的な消防体制により、町と消防・防災関係組織との更なる連携強化に繋げてまいります。

消防団活動事業では、防火衣やチェーンソーを更新するなど、団員の安全確保と装備の充実を図るとともに、「消防団員確保強化月間」を設定し、区等関係者にも協力いただきながら団員確保の取り組みを進め、防災力の向上に繋げてまいります。

消防防災施設整備事業では、消防水利基準に合わせ、住民から要望のありました地上式消火栓の設置や切り替えを行うなど、消火活動の利便性に配慮し、迅速かつ効果的な対応が図れるよう防災施設の整備に努めてまいります。

また、引き続き消防団ポンプ自動車1台を更新し、出動時の安全性確保と効率的な活動が図れるよう、計画的な車両配備を進めます。

教育関係では、多くの方から寄附をいただいた「こども未来基金」で実施している中学生海外研修への貸付、地域の人々とのふれあいの時間を持つ「こどもらんど事業」や「こどもの居場所づくり事業」に加え、登下校の安全確保と犯罪抑止のために通学路へ防犯カメラを設置するほか、経済的に厳しい環境にある様々なケースに応じた柔軟な教育支援を行います。向学心を持ちながら就学が困難な生徒や学生には、新たに給付型奨学金を支給し、未来を担うこどもたちを応援してまいります。

小中学校コンピュータ教育事業では、2020年度からの新学習指導要領に対応するため、小学校のプログラミング教育を必修化するなど、各教科において児童生徒の情報活用能力の向上を目指すとともに、「より分かりやすい授業」の実施に向け、タブレット端末などのICT機器を導入し、教育環境の整備を促進してまいります。

また、小学校の英語教育につきましても、新学習指導要領に基づき小学校の「外国語科」が新設されることから、これまで培ってきたノウハウを活かし、教科書に沿った新たな指導法を導入してまいります。引き続き、小中学校9年間の連続した英語教育を行い、より実践的な英語の習得を目指します。

小中学校特別支援教育充実事業では、多様化する児童生徒に十分配慮した個別指導が可能となるよう支援員を増員し、一人ひとりに寄り添った支援に努めます。

学校施設では、下諏訪中学校の老朽化に伴う給食室の修繕、社中学校の非常放送設備の改修など、学校環境改善に必要な整備を行います。

生涯学習では、町民の皆さんが学びの成果を日々の生活や地域の活動に活かすことができるよう、公民館、総合文化センターなどが連携し、講座や講習会など多種多様な学習機会を提供してまいります。

総合文化センターでは、家族で楽しめる「子ども映画会」や「人形劇まつり」、町民主体の「総合文化祭」、町民参加による「北欧音楽祭すわ」などを開催するとともに、快適に利用していただけるよう施設の維持管理に努めます。

諏訪湖博物館・赤彦記念館では、今井邦子文学館などの分館を含め、各種団体等との協働により、趣向を凝らした企画展、体験教室等を開催し、町の魅力を更に知っていただけるよう工夫してまいります。

一方で、町の魅力を伝えるための素材として資料収集に努め、有効活用できるよう整理を進め、地域の財産として次世代へ適切に引き継いでまいります。

宿場街道資料館では、“いにしえ”へといざなう「歴史のこみち」の充実を図るため、中庭と土蔵内部を整備するとともに、温泉宿場として大いに賑わった下ノ諏訪宿の資料は元より、幕末の激動の時代を肌で感じた地としての情報を発信してまいります。

図書館では、諏訪地域図書館情報ネットワークを通じ、多くの本を提供するとともに、DVDなどの視聴覚資料、信毎データベース等のデジタル情報の活用にも努めます。また、読書推進委員会を中心として読書活動の普及啓発を図り、特に町内小中4校と向陽高校の図書委員会による「下諏訪Bookプロジェクト」の活動を支援してまいります。

こども未来議会からの要望を受け、廃車となる町公用バスについては図書館前への設置を予定し、こどもたちの参加協力を募り改修を行い、こどもたちの飲食や交流・語らいの場として活用していただきます。

地域資料保存事業では、写真・8mm・ビデオ等のデジタル化保存を継続して行ってまいります。これまでに保存してきた写真はインターネットで公開し、町民の皆さんが閲覧・活用できるようにします。また、博物館と連携し、写真展の開催や写真について語り合うワークショップを実施するなど活用方法の拡大を図ります。

スポーツ関係では、新たに陸上競技場のシーズン料金を設定し、ランニングやウォーキングなど気軽に健康づくりができる場所として、より一層の利活用を推進するとともに「健康スポーツ都市宣言」を広く浸透させるための取り組みを行ってまいります。

水上防災拠点施設・艇庫の建設においては、平時は水上スポーツを通じ観光や健康づくりに寄与する諏訪湖活用の拠点、災害時は湖周地域の水上輸送交通の要としての機能を併せ持つ施設として整備いたします。更に、健康スポーツゾーン構想に基づき、錬成の家や現艇庫周辺を健康増進施設とするため、設計等の準備を進めてまいります。

ボートコース設置事業では、水草の大量繁茂に対し継続的な処理を行うとともに、東京オリンピック・パラリンピックや世界ボートジュニア選手権大会の事前合宿受け入れを見据え、2,000m仮設コースの設置に向けた準備を行います。

東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致事業では、引き続きボート競技の事前キャンプ地としての誘致を積極的に推進してまいります。

また、ホストタウン推進事業では、オリンピックを講師に迎え、広く町民を対象とするスポーツ教室を開催し、オリンピック精神やスポーツを通じた文化と国際理解を深めながら、来年2020年に迫るオリンピック・パラリンピックへの気運の醸成を図ってまいります。

2年目の取り組みとなる諏訪湖活用推進事業では、地域の宝である諏訪湖を更に活用するため、カヌー、ボート体験を企業の人材育成研修プログラムに取り入れる新たな試みや、健康スポーツ教室の開催など、スポーツを通じた観光振興と健康増進に繋がる活力あるまちづくりを目指してまいります。

次に、特別会計及び企業会計についてご説明いたします。

特別会計では7会計で総額30億8,320万円、また、企業会計では水道事業の収益的支出に2億8,260万円、資本的支出には1億7,730万円、下水道事業では、収益的支出に5億9,800万円、資本的支出には3億2,130万円を計上いたしました。

国民健康保険特別会計では、高齢者と低所得者層の構成比率が高いことや、医療の高度化による医療費の増大など内在する課題が多く、厳しい状況にあります。国保事業の広域化により財政運営は県が行いますが、県とともに保険者として住民の健康を守り、より安心な医療制度の構築を目指すとともに、本年度では特定健診に歯科健診を追加するなど、予防意識の向上を見据えた安定的な支え合いの事業運営を図ってまいります。

保険税率の改定については、広域化に伴う制度改革により、公費拡充による財源基盤の強化と納付金の激減緩和措置が図られたことなどから、本年度においても、現在の税率で国保運営に支障がない見込みではありますが、今後新たな税率改定などの際には慎重に検討し、対応してまいります。

駐車場事業特別会計では、現在進めている四ツ角雨水渠布設工事と町道御田町線道路美装化工事の進捗状況を確認しながら、観光客や定期利用者への利便性向上に配慮した四ツ角駐車場の整備を行います。

後期高齢者医療特別会計では、国の制度改正に大きく影響を受けるため、動向を注視しながら、引き続き長野県後期高齢者医療広域連合と連携を密にし、安心して医療を受けていただけるよう適正な運営に努めます。

交通災害共済事業特別会計につきましては、万一の交通事故等に備えての相互扶助事業として継続し、より多くの住民の皆さんに加入していただけるよう努めます。

温泉事業特別会計では、長期計画に沿って債務の償還を着実に進めるよう健全経営に努めるとともに、安定的な温泉供給のための事業に引き続き取り組んでまいります。本年度は高木第2源湯場の施設整備事業、高木4号井源湯改修工事などを実施し、自然の恵みを有効に活用しながら、安定供給を目指した維持管理と適正な事業経営を行ってまいります。

特別養護老人ホーム事業特別会計では、「一人ひとりが、人として敬愛される、温かで豊かな生活の場を創る」を運営方針に掲げ、利用者が安心して生活できるサービスの提供に努めてまいります。地域包括ケアの中核を担う圏域住民に欠かせない重要な施設として、県内唯一の公設公営施設を適切に維持管理しながら、一層の健全経営を図ってまいります。

水道事業会計では、町の貴重な財産である良質な水道水を廉価かつ安定的に供給するため、昨年度策定した上下水道事業経営戦略に基づき、計画的な施設更新や資金確保に取り組み、持続的な水道事業の経営に努めてまいります。

本年度は、17年ぶりに料金改定を実施いたしますが、引き続き、費用削減に努めるとともに、経営状況の検証を随時行い、「県下一安くておいしい水」の供給が継続可能となるよう事業を進めてまいります。

下水道事業会計では、将来に渡る事業の安定的な継続を図るため、上下水道事業経営戦略を基本とする経営基盤強化と財政マネジメントの向上に取り組んでまいります。また、雨水排水対策事業は、御田町をはじめ中心市街地の浸水被害を防止するため、本年度での完成を目指し、引き続き国道20号の雨水渠布設工事を実施いたします。

以上、一般会計、特別会計、企業会計についてご説明いたしましたが、持続可能で安定した町政運営に向けて、効率的かつ弾力的な行財政経営を心掛けてまいります。

結びに、本年予定される歴史的な改元を更なる飛躍の契機と捉え、町民の皆様に寄り添う様々な施策を通じて、地域への愛着を育み、住んでいることに誇りが持てる「小さくてもきらりと光る美しいまち」と「住民満足度100%」を目指してまいります。

この町がもつ数多くの資源、宝に磨きをかけ、その魅力を発信、展開しながら活力ある未来を創造し、夢のあるまちづくりと町政発展のために、全力で邁進する所存であります。

町民並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、施政方針といたします。